

萩博物館企画展

萩。夏みかん物語

～初夏の萩を
10倍楽しむ♪～



2008年 4月16日(水) ~ 6月29日(日)



Hagi Hakubutukan

萩博物館

◆開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） ◆観覧料：大人500円 高校・大学生300円 小・中学生100円
【団体割引】20名以上20%引き（障害者割引）20%引き ◆駐車場：普通車66台 バス8台
年中無休（但し9/5（金）は煙草ため休館です）

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地 TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142 <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/hagihaku/>

萩・夏みかん物語

～初夏の萩を10倍楽しむ♪～

夏みかん物語 ①

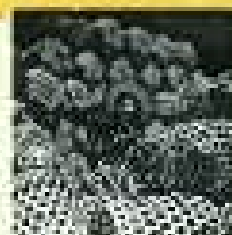
夏みかんの経済栽培が始まったのは、明治9年(1876)のことで、小幡高政によって進められた日本初の取り組みでした。明治維新の後、主のいなくなった武家屋敷地が、夏みかん畑として利用されました。高値で取引されたことから、夏みかんは昭和40年代半ば(1970)頃まで萩の経済を支え、一方で萩の景観も形作っていきました。



夏みかん物語 ③

夏みかんの皮を使って
マーメイドを作ることを
思いついたのはだれでしょう?

『伊藤博文』『大隈重信』『福沢諭吉』
(2/2)



夏みかん畑

夏みかん物語 ②

昭和45年(1970)の大阪万国博覧会の後、「ディスカバージャパン」のキャンペーンが始まり、山陽新幹線が博多まで開業した頃には、雑誌「アンアン」「ノンノ」などの読者層である若い女性を中心に、萩には200万人前後の観光客が訪れました。夏みかんは、萩観光の象徴となりました。



(1973.11.4)



ほ～



ギャラリートーク 当館学芸員・研究員が展示解説を行います。

5/19日(土)、5/17日(土)、6/21日(日)の午後1時半から。

Mag Hakkan
萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字場内 355 番地
TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142
E-mail:muse@city.hagi.yamaguchi.jp

- ◎ JR夷萩駅よりタクシー 10分
- ◎ 萩バスセンターより
まあるバス西回り5分
「萩博物館前」下車
- ◎ 中国自動車道小郡IC、美祿ICより50分
- ◎ 山陽自動車道防府東ICより60分

